

2025 年 10 月 24 日

各位

ENEOS Xplora 株式会社

ベトナムでの CCS 事業立ち上げに向けた協力に係る覚書の締結について

当社は、ベトナム国家産業エネルギーグループ（ペトロベトナム）（以下、「PVN」）および独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（以下、「JOGMEC」）およびギソン 2 パワー LLC と共に、2025 年 10 月 17 日にベトナムでの CCS <注 1> 事業立ち上げに向けた協力に係る覚書を締結いたしました。本覚書は、同日マレーシアのクアラルンプールにて開催されたアジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）<注 2> の第 3 回閣僚会合における MOU セレモニーにて披露されましたので、お知らせいたします。

当社は、PVN と JOGMEC が 2024 年 2 月より実施しているベトナムにおける CCS 共同スタディに参画し、事業化の可能性を検討しております。今回の覚書は、共同スタディの一環として、ベトナムにおける CO₂ 排出源からの CO₂ 回収・分離、輸送、貯留を網羅する CCS バリュー・チェーンの構築に向けた協力を目的に締結するものです。

当社はベトナムにおいて、当社が 100%出資する日本ベトナム石油株式会社を通じて、1992 年よりランドン油田およびフンドン油田において、オペレーターとして石油開発事業を行ってまいりました。当社では、石油・天然ガス開発事業を基盤事業とし、CCS/CCUS <注 3> 等の環境対応型事業をもう一つの軸である成長事業とする二軸経営に取り組んでおります。2011 年にはランドン油田において、CCUS 技術の一種である CO₂-EOR のパイロットテストを東南アジアで初めて実施するなど、世界に先駆けた環境対応型事業にいち早く取り組んでまいりました。引き続き、同国における環境対応型事業を含む新たな機会を追求し、事業基盤の更なる強化を目指してまいります。

以 上



MOU 署名式



第3回 AZEC 閣僚会合 MOU セレモニー

<注 1> CCS: Carbon dioxide Capture and Storage の略。CO₂を回収し、地下に圧入・貯留する技術。

<注 2> [アジア・ゼロエミッション共同体 \(AZEC\) \(経済産業省ホームページ\)](#)

<注 3> CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage の略。CO₂を回収・貯留することに加え、新たな商品やエネルギー生成のために利用する技術。